

3年2組 社会科マイペース学習

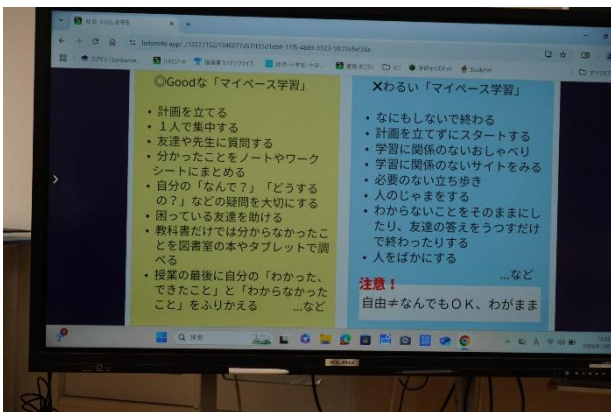
今回のマイペース学習には、大きく二つのねらいがありました。

◎算数科で取り組んできた、一人ひとりがめあてをつくり、そのめあてに向かって自分の力で、または友達と共に学びを進める力を社会科でも発揮する

◎社会科の教科書や副教科書に載っているグラフなどの資料を、課題に応じて探し、自分の力で資料を読み取る

＜マイペース学習の約束の確認＞

- ・マイペース学習の初日として、めざす学び方等をみんなで確認。
- ・本時の課題は「なぜ事故がおきたときに、様々な人がすぐに関わることができるのかを知る」。



- ・個々のめあてを、本児は「アルカディアと教科書で調べてまとめていこう」とした。教科書をよく読んで、自分にとって必要だと思うところを写し書きしていた。伴走的支援をめざす先生は、見守りながら支援のタイミングを考えていた。



- ・先生が準備したワークシートの内容について、友達と確認しながら進めている。疑問に感じている点など、自然な交流がある。



- ・課題と個々のめあてによって、一人ひとりが学びに向かっている。先生は児童の書く内容を見届け、価値づけや質問を投げかけてみる。それぞれが必要な内容を探し、メモしている姿がある。



- ・教科書のイラストから、ワークシートに書き込んだ言葉について隣の友達に説明している。



- ・振り返りの時間に、めあてにそって感じたことを書いている。まとめや振り返りに、「火事のとくと同じくみで、事故が起きた時に通信指令室から様々ところに連絡がいくことがわかった」と書いている児童が多かった。前時までの学習との比較によるまとめを自分の力で書くことができる力が育っている。

資料にはどのようなものがあるかを知り、課題の解決に活用できるように先生が準備したカード



・内容の似ている友達と積極的に交流。いつも同じ友達とではないことを担任は嬉しく思う。



本児は、資料として図を選び、書き写すことで事故時に様々な人がすぐに関わることができることを自分で学びとることができていた。先生が意図するところに迫ることができていた。



担任として課題と考えたこと

◇自由度が高いため、担任だけで一人ひとりの学びを見とめることは難しいと感じた。

→ 自由進度的な学習スタイルの時は、T-T等でも対応することも考えていく。(学校として)

◇一部の情報だけで学びが終わっている児童もいたため、教師の声かけの大切さを感じた。

成果として捉えていること

◎課題への取り組み方、各資料の読み取り方等、学びの基本を確認し、全体で取り組んできた積み重ねが、安心してマイペース学習で学べることにつながったと感じている。